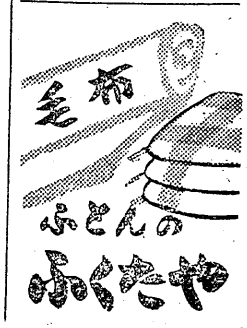
常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
常磐専用 1、210
営業部専用 1、269
編集部専用 1、269



區劃整理と清算金問題

約束が違うと強く反對

縣會土木委が調整に乗出す

平駅前から新川に至る三十米大通りの建設と材木町、紺屋町地内の戦災復興土地区劃整理に伴う清算金問題は、事業を担当した戦災復興事務所が廃止された現在も未解決のままになつているので、佐川委員長をはじめ鈴木喜政、早川竣通、鈴木省吾の各土木委員一行が来平、十七日平市役所に整理地区の代表及び当時の戦災復興事務所長山口末吉氏らを招いて懇談会を開き意見の調整を行うことになつたが、清算金徴収に反対運動を続けてきた地元期成同盟会（会長佐藤嶽氏）では「区劃整理を実施するとき地元民には金銭的な負担をかけないと言明しておきながら、途中で法律を改正して天下り式に清算金をぶつかけるとは不都合千万である。このようなことには絶対応じられない」と強い反対の態度を示しているので話し合いは最初から難航が予想される。

最高は百七十万圓

あす代表者で懇談會

平市の戦災復興事業は二十三年春から三十米大通りと紺屋町、材木町の両地区十八万坪を対象に移転立退きを強行、一時は大騒ぎを演じたが地元民も納得二十八年までには立派に完成して平市の面目を一新したが、この区劃整理事業によつて表通りから裏通りに引込められたり、減歩率が規定の坪数より少なくなつた人、またこの整理のため裏通りから表通りになつたり、減歩率が規定の坪数より少なかつた人の二通りが生れた。現在問題になつているのはこの両者の不公平を調整するために有利な立地条件を占めたものから一定の評価金を徴集して不利な立地条件になつたものに交附するという「清算金」であるが、これに対し反対期成同盟会では

①事業を行うときには清算金について一言の話もなかつたのに事業が終つてから法律を改正して天下り式に強要することは不当である②最高百七十万から下は二、三万円までであるがその評価も極めて不当である。③交附金を清算金で清算しようとしているが、交附金は県または国庫負担が当然で同じ戦災者であるものに負担させるとは承認できない。と強く反対している。

十七日には事業の担当者である元復興事務所長の山口末吉氏も出席する運びになつているので当時の問題も詳細にされるものとみられるが、この両地区の区劃整地事業のため清算金を徴収される立場にあるものが五百人、交附金を受ける立場にあるものは四百人あり、清算金反対の運動とともに交附金を受ける立場の人たちは早期交附を強く要望しており両者からせめられる県でも郡山と平だけという特殊なケースだけに悩みの種らしい。十七日は土木委員会が二班にわかれ郡山と平に乗り込むわけだが、どのような名案がでるか注目される。

佐藤反対同盟会長の話

平市のための道路をつくりながら吾々戦災者にだけ高額な清算金を支払わねばならないということは納とくゆかぬので反対運動をつづけてきた。清算金で減歩率に対する保償はするというが、保償は当然県或は国庫で行うべきものである。戦災の復興と平市の発展という見地から道路に土地をとられたことはしかたないが、その上受益者として金をだせというのは不当でしよう。しかも事業をはじめるときには知事も土木部長も金額的には地元民にめいわくをかけないと言明しているのだから、ベテン成できないし清算金は支払えないにかけるようなやり方には絶対賛

石橋教授を招き

人見の鑑定訊問を行う

精神異常者かどうかで延々になつていた内郷市の放火事件容疑者人見勤一(三)にかんする第六回公判は来たる二月五日午前十時から地裁平支部で石橋東北大学医学部教授を依頼して開かれることになつた人見が放火した当時精神そう失状態だつたか正常であつたかテープレコーダーや人見の父、妻を呼んで調べてきたが確実な精神かん定をしてもらうため石橋教授に依頼してかん定じゆん問をしてもらうことになつたもの。

特賞は四〇五一二五

お年玉はがき

ことしの幸運お年玉年賀ハガキの抽せんは十五日午前十時から仙台市公会堂で行われ、特賞総桐タンスは各組共通の四〇五、一三五番に決つた。

平郵便局では当選者の賞品授与を二十日から行うが、三等以下の当選者は賞品引取の都合もあるので早目に申出るようのぞんでいる。当選番号次の通り。（各組共通）

▽特賞（タンス）四〇五一三五▽一等（リコーフレツクスカメラ）〇七六二〇三、九三〇〇六一▽二等（ボストンバツク）九二四六二〇、五三二九八一、二八七四一八▽三等（グローブ）下五ケタ六二三三▽四等（歯みがきセツト）下三ケタ五五七、六一五▽五等（切手シート）下二ケタ八二、八五九八。

短刀持つ辻切り

通行人切られて重傷

十五日午後十時ごろ平市旧城跡大阪造船㈱製鋼所運転手坂本忠幸さん(三七)が若い男にインネンを付けられて、やにわに短刀用の刃物で顔面、頭部などを切り付けられ、松村病院に担ぎ込まれたが、長さ十二、三センチで全治一カ月の重傷を負つた。届出を受けた平署は署員を動員して捜査にあたつているが、犯人はいち早く逃走した。

保守政治で明るい村造り

会長に渡辺氏　自由クラブ草野部會発足

（北神谷）鈴木政太郎（下片寄）

石城自由クラブ草野部会の結成大会は十五日午後二時から平市草野駅前の小林洋裁塾に自由クラブ会長の鈴木貫次郎平市議、同幹事長の鈴木正男（平医師会長）はじめ鈴木喜政県議らを招き、草野及び片寄地区から主婦をまじえおよそ八十名が参加して開き、規約など審議したのち石城自由クラブ幹事長の鈴木正男氏から「自由クラブは革新政党と対峙し保守政党の政策綱領を支持、地域社会の発展に寄与するのが目的で、特定の人の後援団体ではない」と自由クラブの目的説明があつたのち役員選挙を行い、会長に渡辺栄一氏を選任して発足した。なお席上鈴木貫次郎会長から草野地区の発展と今後の在り方などについて具体的な問題、また鈴木喜政県議から自由党と社会党の主張と県議会における自民党の態度などについての報告と祝辞があり午後四時半盛会裡に終つた。石城自由クラブの部会が結成されたのは昨年部会についで二つ目である。当日選任された役員は次の通り。

▽会長渡辺栄一▽副会長鉱木喜十郎▽同中根昔巳▽幹事佐藤富美夫（下神谷1）新妻国道（下神谷2）鈴木高治（同3）松本守江（泉崎）鈴木元之助（馬目）吉田正太郎（綱谷）猪狩重種

ナイフで切られる

十五日夜十一時ごろ常磐市吹谷飲食店「ベニヤ」で酒を飲んでいた同市上湯長谷三八長倉炭鉱採炭夫新関系二さん(三二)は同店の主人におそくなつたから帰れといわれて主人にからみつき左腕をナイフのようなもので切られ全治十日間の

最高は百七十万圓

あす代表者で懇談會

（前掲記事と同一）

短刀持つ辻切り

通行人切られて重傷

（前掲記事と同一）

保守政治で明るい村造り

会長に渡辺氏　自由クラブ草野部會発足

（前掲記事と同一）

ナイフで切られる

（前掲記事と同一）

誓願院葬送の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御丁重なる御香料を賜り誠に有難く御礼申上げます
実は一々拝趨の上御礼申上げるべき処略儀乍ら紙上をもつて御礼申上げます

昭和三十三年一月十六日

平市五丁目六番地
喪主 諸橋元三郎
親戚総代 坂本昌蔵
〃 大嶺秀吉
友人総代 関内正一

金性院葬送の際は御多用中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御丁重なる御香奠を賜り御芳志有難く厚く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上ぐべき処略儀乍ら紙上を以つて御礼申上げます

昭和三十三年一月十六日

平市才槌小路十四番地
平製パン
夫 上田源之助
外親戚一同

石井貞子葬送の際は御多用中にも拘らず御会葬下され且つ御丁重なる御香料を賜り殉に有難く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上ぐべき処略儀乍ら紙上を以て御礼申上げます

昭和三十三年一月十六日

平市才槌小路四
喪主 石井貞子
兄 石井要之助
外親戚一同
磐城通運株式会社
友人総代 吉田正夫

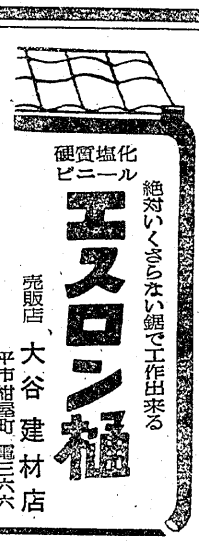
急募

女店員募集

明朗な方 二、三名
住込みの出来る方 年令十八才―二五才

緑屋牛豚肉問屋
本店 平市一丁目 電五三九
支店 平市中央通り 電七九四

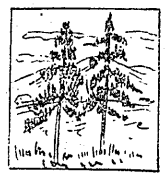
すき焼には！
神戸生
特撰伊勢和牛
百匁二六〇円より
平市銀座通り 電二七一



タタミとオカズは變らせよ
越藤
いつもおなじお惣菜では飽きがきますので食堂の調理部を動員して洋風のオカズを作つてみました。一流ホテルのコツク達ですので味は完ぺき。
○肉ダンゴ 一本 一〇円
○ミートローフ一切 一三円
○マカロニグラタン百匁 五〇円
金曜特売最上海苔一帖 一〇〇円
平市小名浜

世界一の自殺国

なぜこんなに多いのか



このごろの若い人の自殺や心中は非常に多いようだ。十五才から二十四才までの死亡原因の最高は自殺で、昭和三十年には全国で八千二百三十一人が自殺（心中を含む）している。このうち男が五千百四十三人でその年の同年齢層の結核死亡者の二・二倍になっている。ちょっと信じられぬくらいだが、冷厳な数字の示す事実である。

若い世代の男女がなぜこんなに死を急いで自らの生命を断つのか、ことに世界のどの国よりも日本の青少年に自殺が多いのかこれは深いナゾであり大きな問題だと思う。原水爆の出現が、若い純真な心に絶望感を植えつけて、世界各国ともに青少年の不良化や自殺をふやしたともいわれる。我が国の場合はその上に入学試験地獄や就職難のような現実的な悩みから失望落たんによる自殺もあろう。

それらが感情とからみあつて男女の心中となることも多い。これにはやはり社会生活を忘れてはいけないので二人だけの世界に没入して孤独になると、考え方も狭くなる。若い人は〝絶対〟とか〝ただ一筋の道〟ということがはやつているが友人や先輩とも話し合つてみるとまた別の道や人生観のあることも分つてくる。人とは話してみることだ。そして〝時〟をして解決させることも生きることのひけつだろう。深い霧の中に道を失つても、カラリと晴れてみると直ぐそばに山小屋があつたというようなものだ。どうしても死にたい人は、子供でも恋人でも道連れを作らずに一人で往くことにしてもらいたい。

人権の尊重は前からみればよほど良くなつたが、人を人とも思わぬような暴力や人間軽視が相変らず社会にのさばつている。人権の中でも最も大切なことは弱い児童の人権で、大人は暴力を排する力と意思を持つているが、子供はその力もなく、何も知らないで生きるけんりを奪われていることも少くない。子供を道連れとする親子心中ほど心を痛ませるものはない。これは西欧にはないことで、日本人の親子観にそうした野蛮な考え方がいまだに潜んでいることがわかる。他人の子供を殺すのは恐るべき殺人の罪と知らぬ親はないが我が子となるとつい〝親の所有物〟のような気になつて、死の道連れが親の慈悲であるかのような思い違いをするのだろう。人生には死ぬほどの苦しみ悲しみはあるが、死の道連れに子供までまきぞえにするのは親の身勝手である。親といえども児童の人間としての生存権を奪うことは許されぬ。

国際的にも非人道的なことが国家の名や平和の名のもとにされ行われているのは残念なことで原水爆実験による死の灰の降下は、目に見えない暴力で人類の生存をおびやかしている。現代に生きる人間だけでなく、将来の子孫にまで、血液や骨髄や遺伝子の上に恐るべき害悪を与えつつあるホワイトハウスもクレムリンもダウニング街十番地も世界人権宣言を改めて熟読してもらいたい。

目標は社会主義国家の建設で、このため労働者はもちろん、全国民が一生懸命である。石炭生産量の上昇はめざましく、現在一億二千八百万トンの生産であるが、来年からは第二次五カ年計画に入るので、二億三千トンになる。これにより七十万炭鉱労働者の生活も向上している。新中国の労働者は日本労働者に大きな期待を寄せており、戦争に反対、原水爆反対、平和の獲得を目指している」。

成人の歌聲高らかに

三千四百の若人

きのう各地で成人式

青年男女が社会人として巣立つ成人式はきのう十五日挙行された。この日厚い雲におおわれたが、若人たちの成人の歌「潜らなる光の中にわれ等いま命を得たり…」の歌声が強くけだかく各会場にこだまし、あすの社会をになうひとみは希望に輝いていた。石城地方の成人は約三千四百名。

平市　午前十時から平市公会堂で一千百五名が参加して開き諸橋市長から「任務の重大なるを自覚、真剣に勇敢に国民としての権利と義務を遂行、文化国家の建設にまい進するよう」との祝辞に成人代表福田富保君から「身心の練歴と知識技術の研修に務める」と答辞があつた。次いで成人感想文朗読、成人の歌、市長音頭で万才を三唱して式典を閉じ、レクリエーションに移り高久婦人会の舞踊「白鹿隊」平混声合唱団のコーラス、ダンスなどを観覧、記念の手拭、映画割引券、紅白の菓子を贈られ、感激に胸ふくらませ社会に飛立つていつた。

内郷市　浅野記念館に成人者五百四十六人が出席して開かれた。式は山田教育長の開会の辞沼田市長の祝辞ののち成人証書と記念品クシと鏡セットが贈られ、東北大学教授中川譽之助氏の「成人した人へ」と題する記念講演があり終了した。また会場には成人を祝した俳句、短歌などが展示されていた。

磐城市　小名浜一小講堂で七百十三名の成人者が出席して開かれた。三代市長の祝辞、成人証書、記念品贈呈があり、成人者代表の江名地区新井恵司君が「大人も若人を理解、私達も先輩や父兄の意見をすなおに聞きたい」との答辞があつた。市演劇研究会はざくら会とささなみ会の演劇、コーラスなどがあり式を終了した。

常磐市　湯本公民館で成人者六百六十一名が集まつて開かれ磯野市長の祝辞、成人代表者の答辞、記念品湯呑みの贈呈、次いで東北大学教授中川譽之助氏の講演があつた

四倉町　午前十時から四倉小礼法室に三百五十九名の成人者が出席して開かれた。式は松崎公民館長の開会の辞、国家合唱、町長代理西山助役の式辞について県議などの祝辞、大野地区吉田幸一君の答辞、大浦地区青野フミさん、若松ツマさん、大野地区大間スエさんの感想発表、くしと鏡セットが贈られて映画会に入つた。また式を記念しての連合青年団主催の町内一巡り（五区間、一七・二キロ）ろ出血多量で死亡した。

ワイヤーにかまれ死亡

勿来市植田三松炭鉱々外運搬婦谷地館キミさん（三七）は十四日午後二時三十分ごろ同鉱宝坑で巻上げ作業中、ワイヤーに左足から腰までからまれ、同市植田町植田医院にかつぎ込まれたが同四時四十分

なごやかに懇談

中共の炭鉱労働者代表

団も労組に掲額、組合長、副組合長、書記長らに卓上飾りを贈りとれに応えた。懇談は金団長の「百聞は一見にしかず」など日中共通のことわざをまじえてユーモラスに進められた

金団長あいさつ「新中国は根本的にかわつた。労働階級が政権を握つている国です。私たちの日中炭鉱労働者の親睦をはかろうと炭労の招きで十日来平した中国撫工鉱視察団撫工鉱会主席金直夫氏など四氏は十四日常磐炭鉱、古河好間炭鉱を視察、常磐炭砿労働組合会議室で懇談会を開いた。席上金団長は別項のようなあいさつを行い、常磐労組から一行に鍾扇が記念品として贈られ、また視察

後藤（磐）選手が一位

十マイルロードレース

県陸上競技会、県高校体育連盟主催第十一回日本十マイルロードレース大会第三回県大会は小雨をついて十五日、五十三人の選手が参加して双葉郡浪江町で行われたが常磐炭砿の後藤正二選手が53分08秒の大会新記録で優勝した。成績次の通り。

①後藤正二（常磐炭砿）53分08秒②泉田幸（法大）53分56秒③長野松男（常磐炭砿）55分10秒④赤津力（呉羽化学）⑤江尻浩（常磐炭砿）⑥古川代太（内郷高校）⑦氏江陽之（同）⑧春田浩（小名浜水産高校）⑨鈴木宗治（内郷高校）⑩須藤照夫（二本松AC）

常磐署で鑑識講習会

常磐署では事件の犯人捜査を早めようと全署員の鑑識講習会を開いている。この講習には渡辺署長をはじめ署員全員が参加、鑑識係の指導のもとに写真撮影、指紋のとりかた、足跡のとりかた、といろいろあるが誰が行つても直ぐ写真のとれるようにしようというもので、どんな事件のときにも早くその解決の要点をつかまなければならない。そのため鑑識が必要で鑑識係のいないときは誰でも現場にいつて捜査に乗り出せるよう全署員に鑑識の概念を知つてもらおうというもの。

講義の内容は現場の保存、現場鑑識、見取図の作成、電気の概念、法医学、写真関係の規則、写真の撮影、指紋のとりかた、足跡のとりかた、といろいろあるが誰が行つても直ぐ写真のとれるようにしようというもので、どの署員も熱心に講義を受けている。

章君の善行

消火器届ける

水戸鉄道管理局では十三日好間村愛谷字東内四六日雇矢吹章一さん長男章君（三）＝好間第二小五年生＝を拾得物届出者善行生として表彰した

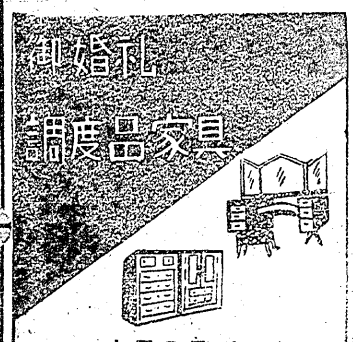
章君はざる十二月八日夕自宅附近の愛谷地内で遊んでいるうちふと草むらに赤く光つているものを見い出し、拾いあげてみると消火器だつた。そのとき章君は汽車に乗つたとき列車の中にある消火器を思い出し、重要な部品であると、すぐ近くの磐越東線赤井駅小野助役のところへ届けたものである。この消火器は昨年九月十二日平発六九旅客列車で何ものかに盗難されたものこの一小学生の行為は最近にないものとして感謝されている。

今晩のラジオ

◇NHK（第一）
六〇〇　子供ニュース
六一五　一丁目一番地
六四五　川柳コント
七〇五　録音ニュース
七一五　隣りも隣り
七三〇　放送演芸会
八〇〇　ニュース解説
八一〇　即興劇場
八三〇　時の動き
九〇〇　邦楽名曲選
一〇一〇　夜のしらべ
一一二〇　海外の話題から
一二〇〇　ラジオ福島
一二一五　トニーの流行語
一二三〇　赤胴鈴之助
一三〇〇　スーパー千一夜
一四〇〇　音楽の小箱
一五〇〇　録音ニュース
一五一〇　日立グランド劇場
一六〇〇　めぐり逢うとき
一六三〇　安川お好み演芸会
一七〇〇　平凡アワー
一七三〇　芸兵衛アワー
一八〇〇　名作アルバム
一八三〇　夜のしらべ
一九〇〇　江戸三国志
一九三〇　時事解説

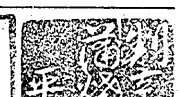
今晩の映画

◇世界館　二十一日迄
七一三　一本足の魔人
八一三　敵中横断三百里
◇平映劇場　二十一日迄
七一〇　娘十八御意見無用
八一〇　神変じや香猫
◇平　劇　二十一日迄
八一〇　通かなる男
八五〇　負ケラレマセン勝ツマデハ
◇ひかり座　二十日迄
七一三　決断の三時十分
八一三　赤い矢
◇平　楽　館　二十日迄（昼興行）
八一〇　ジエイムス・デイーン物語
八一二　日のあたる島
◇平　劇　二十一日迄
七一〇　燃える肉体
八一三　禁じられた唇
◇平文化ニュース　十九日迄
ニュース　マンガ
少年太こう記


家具のデパート
あるか
本店　平銀座街　電223
支店　平四丁目　電2295

ミシン
ジューキ
世界に誇る
四五万台
平市五町目
電1098

弾とふとん
スズキ
平市若葉町　電622


平名物
世界的名曲「六段」の作曲家八橋検校は平市の生れ
名曲「六段」に因み
平駅前
六段本舗　平凡
電509

結婚式
披露宴にどうぞ
旅館　よし川
平市田町　電二八二

不動産売買・仲介評価貸家斡施
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際　色川材木店内　電三六一番

石炭コークス
〔火力の強い／火持の長い／カスの少い〕
徳用石炭
※電話三七番。二三七番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町　常磐炭礦販売会社

看護婦　家政婦の
御用命の方は（呼）電一〇一二番へ
労働大臣認可
石城看護婦家政婦斡旋所
（募集）看護婦　家政婦　年令問わず　派出多忙

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
肢体不自由者相談所
外科　整形外科
内科　小児科　呼吸器科
皮膚科　泌尿器科
理学診療科　レントゲン科
財団法人
竹林病院
院長　竹林貞吉
本院　平市十五丁目十三番地　電話六〇八・八一一番
分院棟　平市小太郎町十三番地　電話一四七四番